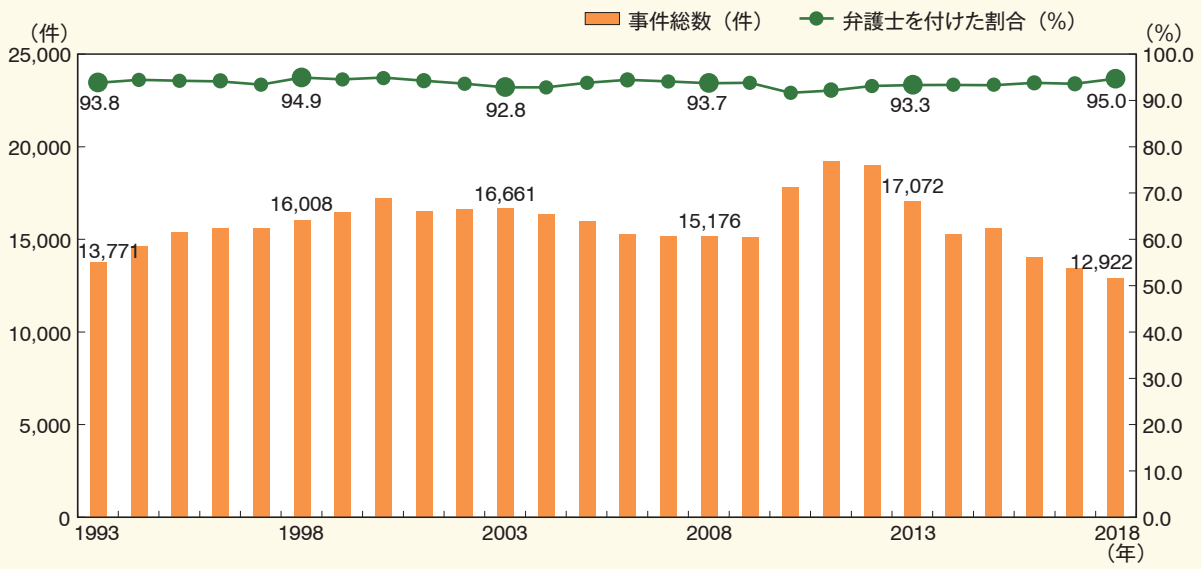
## ⑦ 控訴審（高等裁判所）通常訴訟事件における弁護士選任率の推移

事件総数は、中長期的には大きな変化はない。弁護士選任率においては 94% 前後で推移している。

### 資料2-2-1-16　控訴審通常訴訟事件における弁護士選任率の推移（高等裁判所）

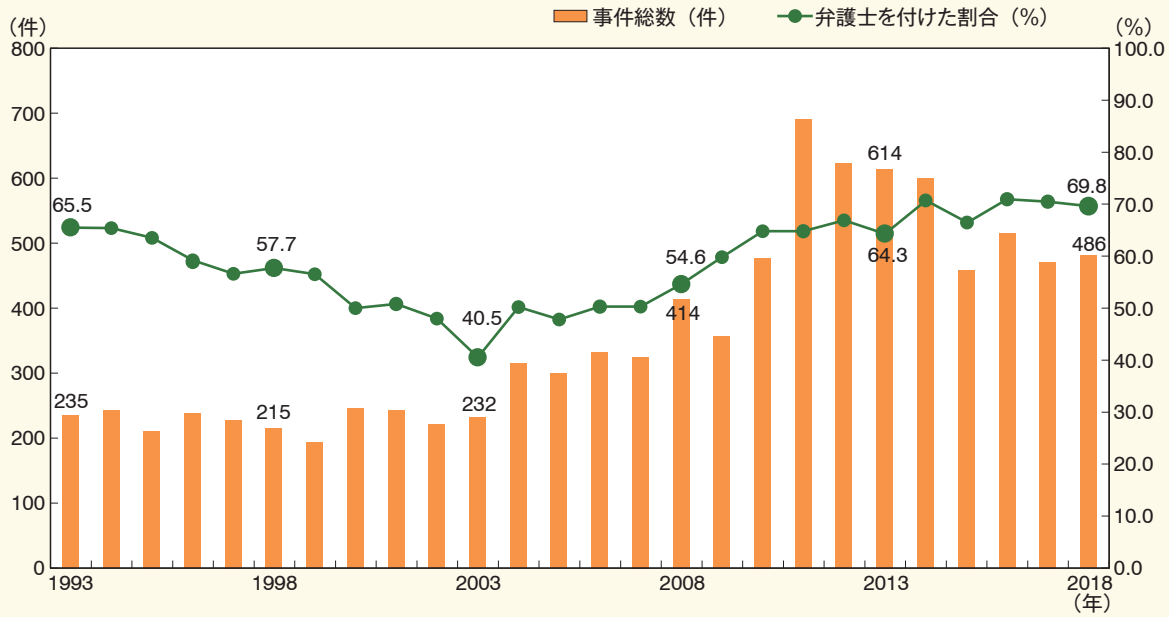



【注】1. 数値は、『司法統計年報（民事・行政編）』「控訴審通常訴訟既済事件数－事件の種類及び弁護士選任状況別－全高等裁判所」によるもの。
2.「弁護士を付けた割合」とは、双方又は一方に弁護士が付いた割合である。
3. 2004 年、2005 年の事件総数のうち、民事控訴として受理したが、行政控訴として既済になったもの１件を含む。

## ⑧ 上告審（高等裁判所）訴訟事件における弁護士選任率の推移

高等裁判所での上告審については、事件総数としては 2012 年以降減少傾向にある。また、2000 年頃まで減少傾向にあった弁護士の選任率については、2004 年から増加傾向にあり、2018 年では 69.8% となっている。

### 資料2-2-1-17　上告審訴訟事件における弁護士選任率の推移（高等裁判所）




【注】1. 数値は、『司法統計年報（民事・行政編）』「上告審訴訟既済事件数－事件の種類及び弁護士選任状況別－全高等裁判所」によるもの。
2.「弁護士を付けた割合」とは、双方又は一方に弁護士が付いた割合である。